

乙島っ子

令和5年度 NO. 29

令和6年 2月29日 倉敷市立乙島小学校



倉敷市学校園
よい子強い子表彰

「褒める」の科学

グッドビヘビア「ビッグ」カード

2月13日に、4年生のある児童から、学級担任の先生を介して、左の画用紙にしたためられた手紙をいただきました。注目すべきはその文面で、「ぼくたちわたしたち」とあることから、「学級のリーダーとして」送られたものと分かります。また、「くださる」の使用が複数あり、敬意をもってもらっていることも、よく分かります。私の方こそ、どれほど、うれしく、勇気づけられたことか…。

2月5日からの1週間、全校で児童相互に「グッドビヘビアカード」を書き合い、渡し合う活動が展開されました。先述の画用紙でいただいたカードは、さしずめグッドビヘビア「ビッグ」カードになるかと思いますが、人は、褒められて「生きるパワー」をもらい伸びていけるというのは間違いのないことです。

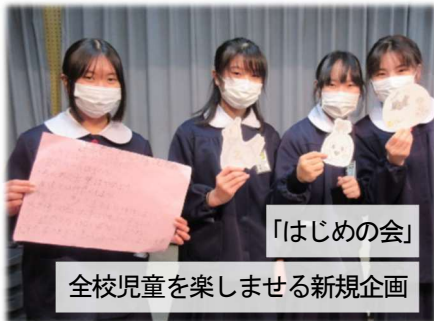
校長先生へ

いつも、学校でぼくたち
わたしたちをみまもってくれて
ありがとうございます。校長先生
は、ぼくたちを勇気づけてくださる
人だとも思っています。いまでも
ありがとうございます。これからも
がんばります。



グッドビヘビアカード「どう書く」問題

人権担当の教員が2月5日をカード交流の起点日としたのは、この日が、前年度の「乙島っ子」でも、「行事は、児童を褒めるためにある」のタイトルで紹介した「乙島小フェスティバル」の実施日だったからでもありました。



「はじめの会」

全校児童を楽しませる新規企画



5い 漢字でGO!

年下の児童に寄り添う関わり



4ろ かるた

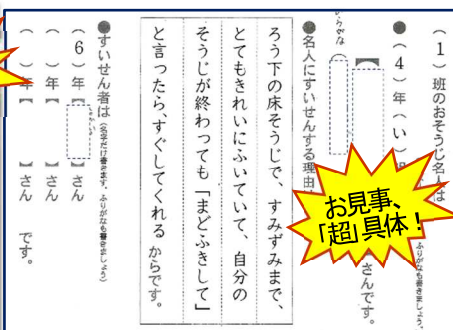
絵札、読み札、オリジナル

児童は、本当に「優しい」です。その内実を、キャプションに挙げる言葉で説明しています。やはり、褒めどころ満載です。一方、教員の間では、「カードに書く内容マンネリ化問題」が指摘されており、筆者は一石を投じます。



実に…
ほめ上手!

美化委員会の「おそうじ名人」の紹介放送



お見事、
「超」具体!



1/31 感謝の会での手紙渡し

礼状の「礼状」が届く程の「超」具体内容

「褒める」のポイント…ここ、先生方、たぶん…「読みどころ」です

- 1 「褒める場」 = 「振り返りの場」の設定 (理想は、「その場」「そのとき」「即座に」)
- 2 「ようす」 (「だれが」「どのような場で」「どのように」「どうしていたか」) を「具体で」語る
- 3 「生き方に関する価値」 (「優しいね」「がんばっているね」など) を基にした評価を語る…か、「アイ(I:わたし)・メッセージ」 (例: ありがとうございます、とってもいいね、すごいことだよ) を伝える